

1 D-マンニトール注射液

2 確認試験の項及び定量法の項を次のように改める。

3 確認試験 本品を水浴上で濃縮して飽和溶液とし、この液5滴
4 に塩化鉄(III)試液1 mL及び水酸化ナトリウム溶液(1→5) 5滴
5 を加えるとき、黄色の沈殿を生じ、これを強く振り混ぜると
6 き、液は澄明となる。更に水酸化ナトリウム溶液(1→5)を追
7 加しても沈殿を生じない。

8 定量法 本品のD-マンニトール($C_6H_{14}O_6$)約5 gに対応する容
9 量を正確に量り、水を加えて正確に250 mLとする。この液
10 10 mLを正確に量り、水を加えて正確に100 mLとし、次に
11 この液10 mLを正確に量り、ヨウ素瓶に入れ、過ヨウ素酸カ
12 リウム試液50 mLを正確に加え、水浴中で15分間加熱する。
13 冷後、ヨウ化カリウム2.5 gを加え、密栓してよく振り混ぜ、
14 暗所に5分間放置した後、遊離したヨウ素を0.1 mol/Lチオ硫酸
15 酸ナトリウム液で滴定(2.50)する(指示薬：デンプン試液1
16 mL)。同様の方法で空試験を行う。

17 0.1 mol/Lチオ硫酸ナトリウム液1 mL=1.822 mg $C_6H_{14}O_6$

18